

令和3年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努める。

1. 第38回 まつやま中学生海外派遣

派遣先の姉妹・友好都市も、本市も新型コロナウイルス感染症流行が治まらず、派遣の実施はできなかった。代替として、オンラインでアメリカの同世代の人たちとの交流や、異文化体験の機会を提供するプログラムを実施した。（実施主体は、過去の中学生派遣でも交流の実績のあるカリフォルニア州立大学サンマルコス校附属語学学校）

『未来にはばたけ！まつやま中学生オンライン留学！』

- (1) 日 時 : 12月11日(土) 12日(日) 18日(土) 19日(日)
の4日間
各8:00~10:00(日本時間)
- (2) 内 容 : ・ウォームアップのための自己紹介
・同世代アメリカ人生徒との交流会
・朝食交流会、自宅紹介
・日本人講師の体験談と質疑応答 など
- (3) 対 象 : 松山市内に住む中学校1~3年生
- (4) 参加者 : 23人

2. 大学生海外派遣事業

友好交流都市・台北市の同世代との交流を通して、現地の現状を知り、国際性豊かな人材を育成することを目的に、松山市内の大学生を台北市へ派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。代替として、台北市と松山市双方の大学生によるウェブ会議システムを活用したインターネット俳句教室を開催し、俳句を通じて交流を図った。

- (1) 日 時 : 台湾側1回目 12月 8日(水) 16:30~18:00
日本側1回目 12月15日(水) 15:30~16:20
2回目(合同) 12月15日(水) 16:30~18:30
- (2) 会 場 : 坂の上の雲ミュージアム2階ホール及び台湾大学
- (3) 内 容 : 1回目に講師による俳句についてのレクチャーと作句
2回目は双方の俳句鑑賞や台湾大学の学生による台湾クイズなど
を通しての交流
- (4) 参加者 : 台湾側 台湾大学日本語文学科の学生 40名
松山側 松山市内の大学生 11名

3. フライブルク市制900周年派遣事業

2020年の姉妹都市ドイツ・フライブルク市制900周年記念関連行事が延期され、2021年中の開催が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延が治まらず、ほとんどが中止となった。展示プロジェクトのみが数度の延期を経て実施された。

姉妹都市芸術作品展示プロジェクト

- (1) 日 時 : 2022年4月11日～5月5日
- (2) 会 場 : シュパールカッセ銀行フライブルク内メッケルホール
- (3) 展示内容 : フライブルク市の姉妹都市の芸術家による作品を展示
- (4) 出 展 作 : 松山市の工芸作家による能面 一点

4. 姉妹友好都市からの青少年受け入れ交流

青少年訪問団を受け入れ、日本文化の体験や学校訪問、ホームステイなど松山の青少年との交流を通して相互理解と友好親善を図る目的で、フライブルク市のゲーテギムナジウム校が来松予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。

5. 海外からの親善訪問団等受入交流

姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ親睦を深めるとともに、市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めることを目的としている。アメリカ・サクラメント市との姉妹都市提携40周年を記念して、代表団が来松予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

6. 地球人まつり

通算25回目となる「地球人まつり in まつやま・えひめ」を、愛媛県国際交流協会（EPIC）との共催により開催した。今年度は、少しでも地域で暮らす外国人住民との直接的な交流ができるよう、地域のイベントに出展する予定だったが、感染状況が好転せず、イベント自体が中止となり、一部の実施ができなかった。

- ・日 時 : (1) 3月27日（日曜日） 10時～15時まで
(2) 3月13日（日曜日）～31日（木曜日）
- ・内 容 :
 - (1) 地球人まつり 2022@まつやま花園日曜日 <中止>
 - ① ワールドバザール（世界の料理や雑貨の販売）6か国
 - ② 異国文化体験（ワークショップや世界の遊び体験）3か国
 - (2) 地球人まつり 2022@コムズ
 - ① えひめの国際交流団体紹介（EPIC 担当）
愛媛県内の団体の活動を紹介したパネル展示 8団体
 - ② 地球人まつり 2022 国際交流フォトコンテスト
「わたしの身近な国際交流」をテーマに、自身が体験した・感じた身の回りの国際交流に関する写真を、県民・市民から

募集し、コムズロビーで展示し、最優秀賞1点、優秀賞2点
市民の投票による特別賞3点を表彰した。

(応募作品数102点 応募者8ヶ国63人)

7. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク
友好ぶどう園」において、市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）の収穫
に合わせ、例年外国人市民と日本人市民が参加するイベントを実施しているが、
今年度は収穫体験は中止とした。代替としてフライブルク市とのつながりやソラ
リスのことを知ってもらうイベントを開催した。また、今後の活用法を検討する
ため初めてソラリスを使用したリキュールを試作した。このほか、収穫した果実
を松山市内の団体（福祉事業所、NPO団体など）へ寄贈し、ジュースやジャム
などに加工して、活用してもらった。

○ソラリスとフライブルクを知るイベント

日時：11月28日

参加者：ドイツ出身ゲスト 3人 市民 22人

内容：・市内にあるフライブルク市ゆかりのスポットをドイツ出身ゲスト
と一緒にグループを作ってウォーキング
・スポット毎にクイズに答えつつ、フライブルクについて学ぶ
・ソラリスを活用した食品を試食用に提供

○寄贈先 就労継続支援所など2団体

・クッキーやジュースなどに加工

○製造品 ・ぶどう飴 600袋（10個入り）

・リキュール 140本（500ml）

II. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な
支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図ると
ともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生の推進に努める。

1. 外国語としての日本語教室

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、
レベル別に分けて基礎講座を開催した。また、来日間もない外国人住民を対象とし
た「今すぐ日本語〜くらしの情報広場〜」も開催。授業を通じて、松山の生活に必
要な情報も提供した。

なお、新型コロナウイルスの感染状況等により、初級講座は前後期とも一部が
休止になったほか、今すぐ日本語講座の前期はオンラインで実施した。

講座名		曜日	時間	年間回数 (回)	登録者数(人)	
					前期	後期
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00～14:30	20	9	5
	初級Ⅱ	木曜	13:00～14:30	20	5	6
	初級Ⅲ	木曜	14:45～16:15	20	5	4
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30～20:00	6	0	
	初級Ⅱ	火曜	18:30～20:00	11	3	
週末	今すぐ 日本語	土曜	13:30～15:30	20	18	8

○託児サポート：子どもを持つ外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。

・利用者：前期なし、後期2人（子ども3人）

○「今すぐ日本語」では、生活情報提供等を行ったほか、フィールドワークも実施。

2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対し、助成を行った。

団体名	事業内容	助成金額 (総事業費)
シリキリヤ サポート クラブ	市民に呼び掛け、まだ使える生活必需品や余剰品を集め、留学生に提供する活動を実施。年間で259回を超える収集や提供を行った。主な提供品は、冷蔵庫、洗濯機などの家電用品と家具類。主な経費：倉庫使用料、車借上げ料、ガソリン代など	300,000円 (420,402円)

3. 外国人のための無料行政書士相談

愛媛県行政書士会・松山支部との連携により、まつやま国際交流センター会議室を会場に毎月一回無料の行政書士相談を実施し、外国人市民の行政手続きや契約等に関する相談に応えた。

- ・開催日：毎月1回（原則第2水曜日）
- ・時間：13:30～15:30の間 一人30分程度
- ・場所：コムズ4階 国際交流会議室
- ・相談件数：5件
- ・主な相談内容：在留資格・ビジネスに関する事など

4. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を

学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	6月27日	【うちの水刺間で作ろう！韓国宮廷風料理】 朝鮮時代の食事情のお話を聞いたほか、韓国宮廷風料理を実際に作り、食しながら交流した。 (オンライン)	24
2	8月28日	【大変？大変じゃない！？ 松山で生活するイスラム教徒(ムスリム)の日常】 松山在住のイスラム教徒を講師に、松山での生活について話を聞いたほか、参加者からのいろいろな疑問・質問に答えてもらい理解と交流を深めた。 (オンライン及びYouTube Live 配信)	18 (オンライン) 10 (配信)
3	9月12日	【もっと知ろう！私たちのまわりの外国人材①】 私たちの生活を支えている外国人材について考えることを目的に、2回連続の講座として開催。 1回目は、ミャンマーとフィリピン出身の技能実習生7名とオンラインでおしゃべりを楽しんだ。 (オンライン)	17
	9月18日	【もっと知ろう！私たちのまわりの外国人材②】 2回目は、視点を日本へと広げ、「日本で働いている外国人について考えよう」をテーマに、専門家による講演を聞き、理解を深めた。 (オンライン及びYouTube Live 配信)	14
4	11月28日	【歩いて発見！フライブルク ～つながろう！姉妹都市シリーズ】 フライブルク市に関連する場所をドイツ出身のゲストと巡るウォーキングツアーを実施。それぞれの場所でクイズに答えるなどしながら、交流し、理解を深めた。 (フライブルク市寄贈ブドウ活用事業として実施)	22
5	2月5日	【SDGs まるわかり！～インドの紙作りワークショップ～】 動画と講話でSDGsについて知り、ワークショップを通して理解を深める講座を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。 (コムズフェスティバル参加事業として企画)	—
合 計			105

5. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成やコミュニケーション能力の向上を目的とした講座を開催するなど、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育の支援

学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを紹介し交流と相互理解の促進を図った。現下の状況をふまえ、オンラインでの交流が多かった。また、高校生の課題研究へ

の協力も行った。

内 容	小 学 校	中 学 校	高 校 生
① 学校等への外国人紹介	2回（12人）	2回（9人）	—
② 課題研究への協力	—	—	4件

※①カッコ内は紹介した人数 ②の内容としては、外国人市民へのアンケートなどへの協力依頼が主であった。

(2) コスモリアン教室

地域で暮らす外国人の協力を得て、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。なお、令和3年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止としたため、その代替事業として、ジュニア国際交流サロンを実施した。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	11月23日	【食べて学ぼう！ドイツのクリスマス】 ドイツ出身のゲストを招き、クリスマスの過ごし方についてお話を聞いたほか、クリスマスならではのお菓子を試食し、ドイツのクリスマスの雰囲気味わった。また、姉妹都市フライブルクについても紹介を行った。	6
合 計			6

(3) ESDコーディネーター派遣

ESD（持続可能な開発のための教育）の専門家であるNPOを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

新型コロナウイルス感染症の状況に応じてオンラインと対面の組み合わせなど工夫を凝らして実施したほか、松山市内で国際協力を実施している団体とも連携し、学習や活動をより身近なものとして感じることができるよう努めた。

	学 校	内 容
1	新玉小学校 1～6年生 538人 (計6回)	1年生 アフリカの民話などの読み聞かせを通して、海外のことや野生生物に関心を持ってもらえる授業を実施したほか、体験者が、アフリカ滞在の経験を写真などを使って分かりやすく伝えた。(対面) 2年生 3年生 モザンビークについて、画像やクイズを通して紹介し、日本との比較などを行った。また、楽器や民族布に実際に触れ体験することで理解を深めた。(対面) 4年生 モザンビークについて、画像やクイズを通して学び、興味・関心を深めた。殊に食生活に関しては、主食のトウモロコシを育てて収穫し、保存して料理するまでの流れなど、日本の暮らしとの違いはあっても、一生懸命に生きている様子を伝えた。(オンライン)

		5年生 6年生	モザンビーク訪問時の画像等を使用し、フェアトレード商品づくり、学校やクリニックの修繕、トイレ建設や井戸掘りなど、SDGs とのつながりとともに最新の国際協力活動の様子を伝えた。また、パラリンピック選手との交流を通してつながったベンフィカ・ノヴァ小学校に新玉小学校から文房具・スポーツ用品などを届けた様子を見たあと、現地の教員と実際に電話で交流を行った。(オンライン)
2	雄郡小学校 5年生 73人 6年生 80人 (計7回)	5年生 6年生	「食と国際協力」というテーマで、食品ロスや賞味期限について考えた。校区内にあるスーパーマーケットの事業系食品ロスを減らすこと、買い物時の選び方を変えるなど身近でできることについても、意見交換を行い、ハンガーマップ・世界の飢餓を減らすことについても考える機会とした。 また、モザンビークで市民による平和な社会づくりを進めるために行った国際協力についても説明し、その大切さを伝えた。(対面) 世界の貧困や飢餓と日本の食品ロスの問題、ハンガーマップなどを紹介し、世界の人々が平和に暮らせるためにはどうしたらいいか考えた。その後、児童が「わたしにとっての平和の色は」と題して、自分の考えを記したものと「平和新聞」を作成し、一部を松山市の平和資料展に展示した。 また、モザンビークのオリンピック選手団に向けて応援メッセージを書き、色紙に貼って届けた。 (一部オンライン)
3	味生第二 小学校 5年生 90人 (計4回)		フィリピンで支援活動を行う松山市内の NPO 代表とフィリピン出身の外国人市民とともにフィリピンの概要について学習したほか、フィリピンのトンド地区のスラムで暮らす3家族とオンラインで交流を行った。 その後、児童同士で話し合い、募金活動やおもちゃやマスクの作成を行った。用意したものは、現地に送り、募金も現地に送って給食事業を実施した。再度現地とオンラインで交流した際には、児童が送ったものが現地に届いていることを確認できた。
4	垣生小学校 6年生 150名 (2回)		「NPO・NGOの仕事/国際協力の仕事」という内容で講話を行い、NGOの立ち上げから今までの活動、世界の貧困や飢餓、SDGs とのつながり、モザンビーク事業の現状と取り組みを紹介し、持続可能な社会づくりに貢献する仕事であることを伝えた。 (オンライン)

6. 地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、文化行事やお祭り等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への溶け込みと多文化共生を図る。

○今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの地域行事が中止となったため、実際に参加して交流することはできなかった。

○愛媛県国際交流協会との共催で共生社会づくり推進を目的に、地域で懸け橋とな

る外国人人材の社会参画を促すプログラムの検討をするため、市内の外国人市民の意見を聞く会議を実施した。会議の後、外国人市民によるグループの活動も始まっている。

- ・期間及び回数 : 7月～11月 計6回
- ・形式 : Zoomによるオンラインミーティング
- ・参加者数 : 外国人市民 17人 協会関係者等 3人
- ・内容 : 日本語について、情報について、防災について、コミュニティへの参加についてなど

Ⅲ. 基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や、団体の活動活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努める。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。

○入門講座

- ・日時 : 10月17日
- ・受講者数 : 31人
- ・内容 : 「できることから始めよう！国際交流ボランティア」
松山市社会福祉協議会・黒河英之氏による講話とワークショップ。
ボランティアを始めるときの心構、活動の意義などについて学んだ。

○国際交流団体による活動紹介

- ・日時 : 10月24日
- ・受講者数 : 25人
- ・内容 : 市内及び近郊で活動する国際交流13団体による活動紹介の後、個別に質問等のできる時間を設け、マッチングを図った。

2. 交流ボランティアのための語学講座

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を生かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。

また、受講後はボランティアガイドへの登録を推奨し、今後の活動に学習の内容を生かしてもらえるよう努めた。

(1) ボランティア語学講座

観光・文化施設の案内など、外国語観光ガイドに必要かつ実践的な語学の習得

を図った。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応として、定員をこれまでの半分に設定したほか、回数も前期・後期各15回から、6～7回の講座を年間3回実施するよう改めた。

		1期	2期	3期
ハングル	上級	6回・登録者9人	6回・登録者7人	1回のみ実施・8人
中国語	上級	6回・登録者6人	6回・登録者6人	中止
英語	平日	7回・登録者25人	7回・登録者25人	1回のみ実施・25人
	週末	7回・登録者8人	7回・登録者11人	中止

- ・各講座とも、観光施設等において実地研修を行うフィールドワークを実施。その際外国人市民をゲストに招き、実践的な活動を行った。

(2) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドやイベント通訳等の支援を行った。

使用言語：英語

《ボランティアガイド登録：150人》

	月 日	内 容	種別	派遣人数 (人)
1	1月17日	県の観光プロモーション動画での松山城 英語ガイド	ガイド	1
合 計				1

3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人とホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通じて異文化交流、相互理解を図る。

○ホームステイ・ホームビジット

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施はなかった。

- ・登録家庭：195世帯

○My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族となってもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安として、ホームステイに限らない自由な交流を行ってもらう「My Matsuyama Family」を実施している。新型コロナウイルス感染症による入国制限などもあり、新規留学生数は少なかったが、感染に留意しつつ、交流を実施した。

- ・交流実績：春季（6月～9月）：5か国6人の留学生が6家庭と交流
 秋季（1月～5月）：4か国4人の留学生が4家庭と交流
- ・登録家庭：244家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

また、活動に役立てることを目的に、登録者によるミーティングを定期的に開催し、情報共有を図った。

《オタスケマン登録者数：医療68人・日常123人》

(1) 日常生活サポート

	月 日	内 容	派遣/協力 人数 (人)
1	9月	自宅近郊の書道教室に関するの情報提供	4
2	10月16日～	「今すぐ日本語」サポート及び情報提供 (後期・8回)	6
3	10月 6日	自宅のインターネット接続サポート	1
4	11月	外国語対応病院情報	3
5	11月22日	運転免許切り替えサポート (書類のみ)	1
6	11月27日	自宅のインターネット解約サポート	1

(2) オタスケマンミーティング

- ・実施日 : 6月20日、10月2日、12月12日
- ・内 容 : 活動報告、事例紹介、活動に役立つ情報共有など
- ・参加人数: 延べ48人

5. 民間国際交流団体等助成・支援

(1) 姉妹・友好都市との交流助成

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により申請はなかった。

(2) 後援

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	10月 1日	日露交歓コンサート 2021 松山公演	日露交歓コンサート 2021 実行委員会
2	10月23日	第38回マドンナ・レシテーション・コンテスト～中学生英語暗誦大会	松山東雲中学・高等 学校

6. 情報発信事業

(1) ホームページ・メールニュース・フェイスブック・冊子等による情報提供

生活に必要な情報を外国人市民へ提供するとともに、市民にもホームページ・メール・SNS等での情報発信を行った。新型コロナウイルス感染症関連の情報については、関係機関とも連携し、最新情報の提供に努めた。

また、英語ボランティアガイドクラスが編集を行っている英文情報誌「What's Going On?」（月1回発行）については、新型コロナウイルス感染症の影響により紙媒体での発行は休止し、ウェブ版で公開している。

○メールニュース

週1回定期発信、登録数：市民 1,987件・外国人市民 851件

(2) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書等を収集し市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：13件

(3) ラジオによる広報

松山市のラジオ広報番組を通して、協会の事業の広報を行い、市民への周知を図った。

	月 日	告 知 内 容	番 組 名
1	7月17日	外国語観光ガイド講座の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
2	9月11日	国際交流市民ボランティア	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
3	1月 8日	コムズフェスティバルの案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
4	3月12日	地球人まつり2022の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」

IV. もてなしの風土醸成事業

外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努める。

1. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

- ・設置台数 7台
- ・料 金 無料
- ・貸出件数 14件

V. 評議員会・理事会の実績等

令和3年度における評議員会・理事会の開催状況等

1. 評議員会の開催状況

○第1回評議員会

開催日：令和3年6月9日（水）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）4階 視聴覚室

決議事項：令和2年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事及び監事の任期満了に伴う選任

公益財団法人松山国際交流協会評議員の任期満了に伴う選任

出席者：評議員4人、理事2人、監事2人

2. 理事会の開催状況

○第1回理事会

開催日：令和3年5月21日（金）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）4階視聴覚室

決議事項：令和2年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事及び幹事の任期満了に伴う改選

令和3年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集

報告事項：事業の執行状況について

出席者：理事7人（欠席1人）、監事2人

○第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会代表理事及び業務執行理事の選定

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示、及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和3年6月16日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第3回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会職員の採用等に関する規程の改正

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示、及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和3年12月14日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第4回理事会

開催日：令和4年3月23日（水）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）4階 視聴覚室

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会就業規則改正の承認

公益財団法人松山国際交流協会就業規則の改正

公益財団法人松山国際交流協会給与規程の改正

公益財団法人松山国際交流協会職員の採用等に関する規程の改正
令和4年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算
の承認

報告事項：事業の執行状況について

出席者：理事7人（欠席1人）、監事2人

3. 関連当事者との取引の内容

役職及び氏名	内 容	金 額
評議員 ルース・バージン	12月12日に実施したオタスケマンミーティングの講師謝礼	5,000円
評議員 ルース・バージン	2月27日に実施した当協会の嘱託職員採用にかかる面接審査員	12,000円